



伏見板橋 前期

学校評価号

令和 7年 9月 19日

京都市立伏見板橋小学校

校長 竹原 正樹

TEL 075-611-5158 FAX 075-611-5290

mail : itahashi-s@edu.city.kyoto.jp

令和7年度、第1回いたはしアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。結果をご報告いたします。今年度は、子どもたちの様子をより深く見つめながら、保護者の皆様や教職員が「自分ごと」として子どもたちの成長を支えられるよう、昨年度のアンケート項目を見直しました。保護者の皆様には、ご家庭での教育・子育てを振り返る機会として、教職員は日々の指導を具体的に振り返ることにつなげるものとさせていただきました。

児童・保護者・教職員へのアンケート16項目を集計し、「よくできている」「だいたいできている」を合わせて「実現度」として示させていただきます。

<学校教育目標>

夢をもち 自らの未来を創る 子どもの育成 ～考え 判断し 実行する子～

<付けたい資質・能力>

自己指導能力

その時、その場でどのような行動をとることが適切であるか自分で判断して行動できる力

自分で調整する力

第1回いたはしアンケート結果

児童	実現度	保護者	実現度	教職員	実現度
自己決定の場の提供…児童が授業場面等で自分の意見や考えを自由に発表できる機会づくり					
あなたは、興味や関心をもち、自分から進んで学習に取り組んでいますか。	93%	家庭では、子どもが学ぶことに興味をもてるように声かけをしていますか。	87%	あなたは、児童が主体的に学べるような授業づくりをしていますか。	94%
あなたは、学習の仕方を自分で見つけたり、選んだりしていますか。	89%			あなたは、児童が自分で合った学習方法を見つけられるよう支援していますか。	83%
あなたは、自分の考えをみんなに伝えていますか。	82%	家庭では、子どもが自分の思いや考えを伝えやすい雰囲気づくりを心がけていますか。	97%	あなたは、児童が安心して発表できるような雰囲気を作っていますか。	89%
あなたは、自分の夢をもち、かなうように頑張っていますか。	93%	家庭では、子どもが夢をもち、それに向かって努力できるように励ましていますか。	98%	あなたは、児童が夢をもち、それに向かって努力できるような支援をしていますか。	79%
共感的な人間関係の育成…児童が生活集団の中で、相互の多様性を認め尊重し合う関係づくり					
あなたは、友達が発表しているとき、うなづくなどしながら話をよく聞いていますか。	96%	家庭では、子どもに人の話をよく聞くことの大切さを伝えていますか。	96%	あなたは、児童が他者の話をよく聞くように促していますか。	100%
あなたは、友達の意見が自分の意見とちがっていても、最後まで聞いていますか。	96%	家庭では、子どもが友達と意見が違っても、耳を傾けることの大切さを伝えていますか。	92%	あなたは、児童が異なる意見にも耳を傾けられるようにしていますか。	95%
あなたは、友達と学習するのは、楽しいですか。	97%	家庭では、協働学習(グループやペアで学ぶこと)の大切さについて伝えていますか。	72%	あなたは、児童が協力して学ぶことの楽しさを感じられるようにしていますか。	89%
あなたは、友達に「ありがとうございます」や「ごめんね」が言っていますか。	96%	家庭では、子どもが、「ありがとうございます」や「ごめんね」などの気持ちを自然に言えるようにしていますか。	98%	あなたは、児童が、「ありがとうございます」や「ごめんね」と素直に言えるような人間関係づくりを支援していますか。	100%
自己存在感の感受(自己存在感を感受できるような配慮)…児童が自己存在感を実感でき、さらに自己肯定感、有用感を育むことができる配慮					
先生や友達は、あなたのがんばりをほめますか。	92%	家庭では、子どもの努力や良いところを認め、褒めていますか。	99%	あなたは、児童の努力を積極的に認め、褒めていますか。	100%
あなたは、自分の良いところがわかっていますか。	82%			あなたは、児童が自分の良いところに気付けるような活動を取り入れていますか。	83%
あなたは、自分のことが好きですか。	81%	家庭では、子どもが自分らしさや大切なことを大事にできるよう、温かく応援していますか。	98%	あなたは、児童が自分自身を肯定的に捉えられるような声かけをしていますか。	100%
あなたには、大切にしていること(ものや夢)がありますか。	96%			あなたは、児童が大切にしているものや夢を尊重し、支援していますか。	100%
安全・安心な風土の醸成…児童が学級やHR等で安全かつ安心して学校生活を送れるような風土づくり					
あなたは、学校が楽しいと感じていますか。	94%	家庭では、子どもが学校生活を楽しいと感じられるようにサポートしていますか。	99%	あなたは、児童が学校生活を楽しいと感じられるようにしていますか。	95%
あなたは、当番や係の仕事を最後までやりとげていますか。	96%			あなたは、児童が当番や係の仕事を責任をもってやり遂げられるように指導していますか。	100%
あなたは、あいさつ(おはようございます、さよならなど)をしていますか。	91%	家庭では、子どもがあいさつや規則正しい生活(早寝・早起き・朝ごはん)をできるように意識していますか。	98%	あなたは、児童が日常的にあいさつを交わせるような関係づくりをしていますか。	95%
あなたは、早寝・早起きをして朝ごはんを食べる習慣はついていますか。	86%			あなたは、児童へ早寝・早起き・朝ごはんなどの生活習慣の大切さについて、声かけをしていますか	72%

アンケート結果より

自己決定の場の提供

児童・保護者ともに高い実現度を示しており、児童が自ら学習に取り組む姿勢や夢に向かって努力する様子がうかがえます。一方で、教職員の自己評価はやや控えめであり、児童の主体性をさらに引き出す授業づくりに課題があると考えられます。今後も、iPad 等も活用しながら、児童が自分の考えを安心して発表できるような雰囲気づくりや、個々に合った学習方法を選択できる授業を進めていきます。

共感的な人間関係の育成

児童・教職員ともに非常に高い実現度を示しており、学校内での人間関係が良好であることがうかがえます。友達の意見に耳を傾ける姿勢や、協力して学ぶ楽しさを感じている児童が多く、教職員の支援も効果的に機能していると考えられます。一方で、保護者の評価がやや低めとなっています。より一層、家庭と連携し、子どもたちの成長を見守っていければと思います。

自己存在感の感受

保護者・教職員は非常に高く評価しており、児童の努力や良いところを認める姿勢が浸透していることがわかります。しかし、児童自身の自己肯定感に関する項目（「自分のことが好き」「自分の良いところがわかる」など）はやや低めであり、児童の実感とのギャップが見られます。児童が自分の価値や存在意義を実感できるような活動や声かけを、さらに意識して、日々の授業や学校行事等に取り組んでいきます。

安全・安心な風土の醸成

全体的に高評価であり、児童が学校生活を楽しいと感じている様子がうかがえます。あいさつや係活動への取組も良好で、学校全体として安心して過ごせる環境が整っていると考えられます。ただし、「生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）」に関する教職員の支援実感がやや低めでした。生活点検週間などを活用し、児童の生活習慣の定着に向けた家庭との連携や、学校からの働きかけを意識していきます。

家庭でのよい取組やご意見・ご感想 … 保護者記入欄からの抜粋です。

- ・毎日いろいろなことを楽しんでいる様子です。
- ・学校での出来事をたくさん話してくれるので、楽しく聞いて共感できるように心がけています。
- ・料理のお手伝いやお使いなどを頼んで、その経験が自信につながっていると思う。
- ・担当の家事（お風呂洗いなど）を決めて、なるべく毎日してもらうようにしています。
- ・自立、自律した生活、学びができるよう、小さいことからでも子ども本人が決めるようにしています。
- ・必ず、おはようを言う事と洗濯物を畳んで自分の衣服は自分でタンスにおします。
- ・毎日、お手伝いをしてくれています。
- ・挨拶はしっかりできる様に伝えている。が、恥ずかしいのか、自分からはしていない様です。
- ・挨拶に関しては、両親が積極的に挨拶する姿をみせるようにしていました。「自分たちのことを知ってもらう大切なことだよ」と、家族で何度か話あったりしています。
- ・あいさつはもちろん、ありがとう、ごめんねが自然に言えるように大人が率先して言うように心がけています。